



令和3年(2021年)第2週 2021年1月11日(月)~2021年1月17日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●RSウイルス感染症について

RSウイルス感染症が今週は少し増えています。RSウイルス感染症はRSウイルスによる呼吸器の感染症で、年齢を問わず、生涯に何度も感染と発病を繰り返します。発症の中心は0~1歳児で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の子どもが少なくとも1回は感染すると言われています。

◆どんな病気？

・症状……発熱などの軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。多くは軽症ですみませんが、低出生体重児、心疾患、肺疾患、免疫不全のある場合は重症化のリスクが高いと言われています。また、初めての感染では症状が重くなりやすいと言われており、特に乳児の早い時期(生後数週間~数ヶ月間)に初めてRSウイルスに感染した場合には、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

・潜伏期間……2~8日程度(典型的には4~6日)です。

・感染経路……感染者の咳やくしゃみのしぶきを吸い込む飛沫感染、ウイルスが付着した手や物(手すり、おもちゃ等)を触ったりなめたりすることによる接触感染があります。

・流行期……例年冬季にピークが見られ、夏季は報告数が少ない状態が続いていましたが、近年は7月頃から報告数の増加傾向が見られています。

感染した場合、特効薬はありませんので、治療は基本的には対症療法になります。

◆予防法や対策は？

手洗い、アルコール製剤などで手指を衛生的に保つ事です。子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどは、アルコールや塩素系の消毒剤などでこまめに消毒するようにしましょう。重症化のリスクの高い乳幼児には、医師の判断のもと、重症化を予防するためにパリビズマブ(シナジス)という薬を使用する場合があります。



期 間		2021年 1週		2021年 2週	
		1/4~1/10		1/11~1/17(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	注意	2	0.13	12	0.75
咽頭結膜熱(プール熱)		6	0.38	7	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	0.19	10	0.63
感染性胃腸炎	注意!!	114	7.13	114	7.13
水痘(みずぼうそう)		2	0.13	1	0.06
手足口病		7	0.44	8	0.50
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
突発性発しん		12	0.75	8	0.50
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		7	1.40	5	1.00
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00